

看取り 父との最期の日々

CH5期 日本ホメオパシーセンター福島いわき
阿部重実



「時々めまいが
するんだよ...」



父は、
我慢強い人でした。



「病院だけは
連れて行かないで」



「覚悟しているから、
この家で死なせてくれ」



自分に語りかけ、
そして祈りました。



自然に
逝けるはずだ



何があっても
なんとかなる



もう2度も
生き返っている。



「えみー」と
大声で呼ばれたので、
私は
何度も笑顔を返しました。

ずっと眠ったようでした。



父は母を愛していました。





「由井先生がお父さんのことをほめてくれたよ」と言った時は嬉しそうにしていました。

今ここに生かされていることを
心から感謝いたします。
ご清聴、ありがとうございました。